

令和5年度 第2回 地域レジリエンス学環シンポジウム

テーマ「災害の時代にあるべき まち と ひと」～令和6年能登半島地震を経験して～

令和5年4月、防災・減災・事前復興と少子高齢化時代における持続可能な地域づくりに貢献できる人材の育成を目的として、愛媛大学に新たな大学院プログラム「地域レジリエンス学環」が設置されました。地域レジリエンス学環の初年度の取組を学内外の皆様にご覧いただくことを目的に、第2回目となるシンポジウムを開催いたします。皆様もご存じの通り、令和6年1月1日に令和6年能登半島地震が発生し、甚大な被害の中で現在も避難生活を送られている方もいらっしゃいます。レジリエンスな社会構築を目指す本学環では、災害時の応急活動、報道、男女共同参画に携わる専門家をお招きし、講演やディスカッションを通して、持続可能な地域社会の構築及び地域レジリエンス学環が目指すべき方向性について理解を深める場とします。

記

主 催 愛媛大学大学院地域レジリエンス学環

共 催 愛媛大学防災情報研究センター

日 時 令和6年3月18日（月）14:00～17:15

会 場 愛媛大学南加記念ホール 松山市文京町3

プログラム

14:00～14:05 開会挨拶 愛媛大学理事・副学長 地域レジリエンス学環長 宇野英満

14:05～14:15 地域レジリエンス学環の初年度の取組 愛媛大学地域レジリエンス学環副学環長 森脇 亮

14:15～14:45 講演1

「地域とともに築く松山駐屯地の「備え」～災害対処を中心に～」

防衛省陸上自衛隊 中部方面特科隊長 兼ねて 松山駐屯地司令 細川 ^{よしのぶ}香宣

14:50～15:20 講演2

「ジェンダーと多様性の視点による大規模災害の教訓と能登半島地震」

減災と男女共同参画研修推進センター共同代表

早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員 浅野 幸子

15:20～15:30 休憩

15:30～16:00 講演3

「災害報道で命を守るには…」

NHK松山放送局副局長 二宮 徹

16:00～16:20 発表

地域レジリエンス学環学生による研究成果発表

愛媛大学地域レジリエンス学環 1回生

16:25～17:10 パネルディスカッション「災害の時代にあるべき まちとひと」～能登半島地震を経験して～

コーディネーター 芝 大輔 愛媛大学地域レジリエンス学環准教授

パネリスト 二宮 徹

細川 香宣

浅野 幸子

池田 篤司 松山市総合政策部防災・危機管理課長

地域レジリエンス学環学生

17:10～17:15 閉会あいさつ 愛媛大学防災情報研究センター長 バンダリ ネットラ プラカシュ